



【写真左から】藤原高彦さん(保護者)、藤原聖さん、山田村長



日々の努力で培った力を最大限に発揮 令和6年度「全国高等学校総合体育大会空手道競技大会」団体戦優勝

8月1日から長崎県で開催された、令和6年度「全国高等学校総合体育大会空手道競技大会(インターハイ)」で、見事、組手団体戦優勝を果たした東海村出身の藤原聖さん(高松中央高校3年)が、結果報告のため、表敬訪問に訪れました。藤原さんは「大将戦まで持ち込まないというプレッシャーの中、冷静に試合に臨むことができました」と試合の感想を話してくれました。村長から「今までの努力が報われて結果がついてきたのだと思います。さらに成長して、個人でも日本一が取れるよう期待しています」と今後の活動へのエールが送られました。これからも活躍を期待しています。



サツマイモの葉を使ってハワイの郷土料理に挑戦! 「ハワイアン料理を作ろう会」を開催

8月12日、姉妹都市交流会館で「ハワイアン料理を作ろう会」が開催されました。これは、8月10日に開催された「ハワイ文化勉強会」に関連したイベントで、ハワイの郷土料理である「ラウラウ」(タロイモをティの葉で包んで蒸し焼きにした料理)を、サツマイモの葉を使って作ろうと企画したものです。サツマイモの葉を食べたことのない参加者たちは、ワクワクしながら調理を開始。出来上がりを食べた参加者からは「美味しい!」と料理を絶賛する声が上がりました。村の特産品を通してハワイの食文化への理解が深められました。



猛暑の中、東海村発足70周年記念の「水鉄砲大会」に大歓声 水鉄砲サバイバルゲーム阿漕ヶ浦決戦「水陣」

8月25日、阿漕ヶ浦公園ホッケー場で、NPO法人「真砂山FUNクラブ」(井坂文明理事長)主催の水鉄砲大会「水陣」が開催され、親子など80人が熱戦を繰り広げました。試合は全8チーム(1チーム10人)によるトーナメント戦。選手は頭に金魚すくい用のポイをつけており、水鉄砲で穴を開けられたら退場、試合時間5分間で残った選手が多いチームが勝利というルールで行われました。青空に選手や応援団の歓声が響き渡る中、びしょぬれの激戦を制したのは、チームイエローの皆さん(写真)。井坂理事長は「水をテーマにした交流事業は東海村初。地域の仲間と、地区の名物イベントに育てていきたいです」と話しました。



フラダンスだけじゃない!?ハワイの歴史や文化を学ぶ 「ハワイ文化勉強会」を開催

8月10日、東海文化センターで「ハワイ文化勉強会」が開催されました。これは、フラダンスを通して、地域の活性化のためにさまざまなことに取り組む東海村フラダンス連盟が、地域の方々に「ハワイに関して、フラダンス以外の部分も知ってほしい」という思いから企画したものです。当日は、ハワイアンバンド「KAULANA(カウラナ)」の渡辺コースケさんを特別講師として迎え、ハワイの文化や歴史等について学びました。勉強会の最後には、多くの参加者が質問をするなど、皆さんのハワイに対する関心の高さが見受けられました。



▲東海南中学校サッカー部の皆さん



▲大会の様子

チーム一丸となって手に入れた全国への切符

東海南中学校サッカー部が全国大会に出場

令和6年度「全国中学校総合体育大会」において、茨城県大会で準優勝、関東大会で7位となり、8月19日から石川県で開催された、第55回「全国中学校サッカー大会」に出場した東海南中学校サッカー部の皆さんが、村長へ報告に訪れました。一人ひとりが堂々と自己紹介や大会の感想等を述べた後、全国大会出場までの道のりや大会当日の様子、大会を通して感じたことなどについて歓談しました。村長からは、「部活動の良さをチーム一丸となって体現するとともに、誇らしい結果を残してくれました。今後の人生に自信をもって生かしてほしいです」との言葉が送られました。



子どもたちが平和の尊さを学び考える機会に

「第12団東海村小・中学校平和大使広島派遣」

8月5日から7日にかけて、令和6年度「第12団東海村小・中学校平和大使」として、村内各校の児童・生徒合わせて15人が、広島県を訪問しました。各校で願いを込めて作成した折り鶴の奉納のほか、原爆ドームや平和記念資料館の見学、被爆者からの体験講話、平和記念式典への参列など、平和について深く考える機会となりました。8月23日に東海村産業・情報プラザ「アイヴィル」で行われた体験報告会では、「原爆被害の悲惨さ、平和の尊さをしっかりと学ぶことができました」、「戦争という過ちは二度と繰り返してはならないと思いました」と、平和大使たちが平和への強い願いを訴えました。